

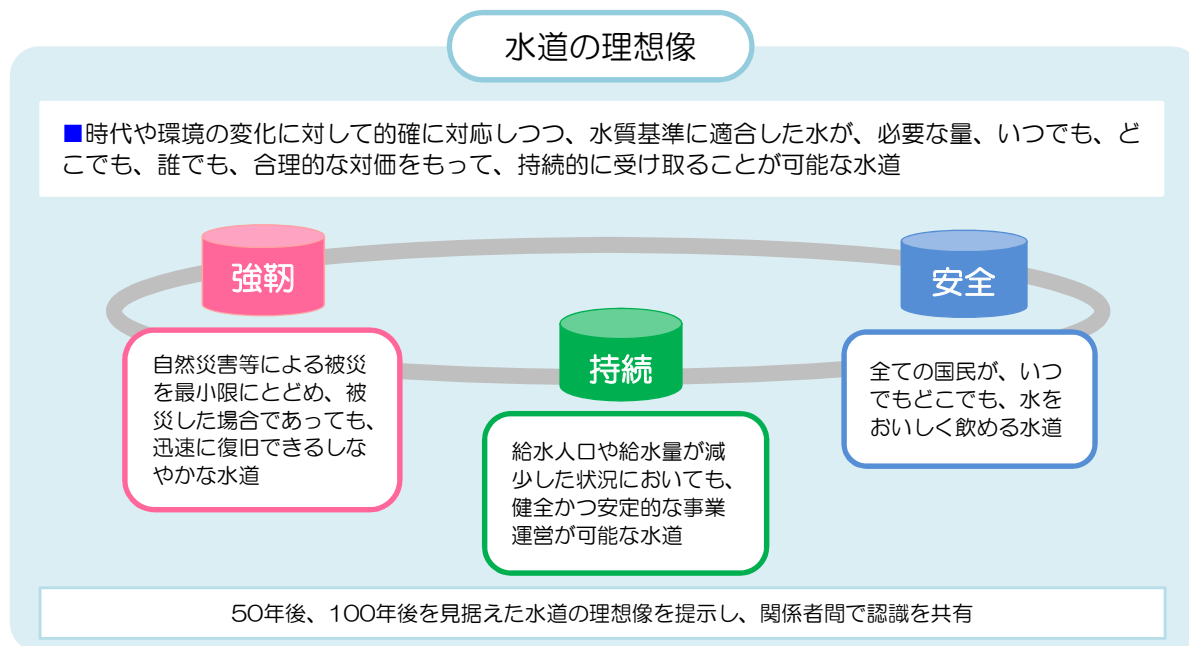
1. 策定の趣旨

本市の水道事業は、お客さまのニーズに対応した信頼性の高い水道を次世代に継承していくため、基本的な考え方を平成21年12月に「別府市地域水道ビジョン」として策定し、安全で安心できるおいしい水を将来にわたって提供できるよう運営してきました。

しかし、人口減少社会の到来による水需要の減少や、東日本大震災の経験による危機管理体制構築の必要性など、水道を取り巻く環境が大きく変化したことを踏まえ、厚生労働省が平成25年3月に「新水道ビジョン」を公表し、「安全」・「強靱」・「持続」の観点から水道の理想像を明示するとともに、今後取り組むべき事項、方策を提示しました。

本市の現状と課題は、人口減少や節水機器の普及により給水収益の減少が見込まれる一方、安全で安心できるおいしい水を供給するため、老朽化した施設の更新や耐震化が必要となり、投資費用の増高が予想されます。

また、人口の減少、施設の効率性の低下や職員数の減少、技術の継承、人材育成や熊本地震を踏まえた危機管理体制の構築など、様々な課題が想定されます。この課題に挑戦するため、50年、100年後の将来を見据えた水道事業の目指すべき姿と実現するための方向性を示した「別府市水道事業ビジョン（以下「本ビジョン」といいます。）」を今回、策定しました。



出典：厚生労働省「新水道ビジョン」

2. 計画期間

本ビジョンの計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。また、社会情勢の変化や国、県や近隣市町の動向により、柔軟に計画を見直すこととします。

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
第1期 中期経営計画					第2期 中期経営計画				
					フォローアップ				

3. 位置付け

本ビジョンは、「別府市総合計画」及び「まちをまもり、まちをつくる。べっぴん未来共創戦略」との整合性を保ち、厚生労働省の「新水道ビジョン」及び総務省の「経営戦略」の趣旨を踏まえ、平成29年度から実施される「別府市水道事業基本計画」をベースに策定しています。

